

令和4年度
事業報告書

公益財団法人 山口県学校給食会

目 次

令 和 4 年 度 事 業 報 告 書

I 役員・評議員・職員等の数	2
II 学校給食会の事業	2
1 新型コロナウイルス感染拡大のため中止等になった事業	3
2 学校給食用物資の安定供給に関する事業	3
3 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業	5
4 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業	7
5 車両関係修理	9
6 修繕	10
7 設備投資	10
8 資産取得資金の積立	10
9 令和4年度行事	11
附 属 明 細 書	13

令和4年度事業報告

《 事業概要 》

公益財団法人としての本会の目的である、学校給食の円滑な実施とその充実発展及び食育の推進を積極的に支援するため、令和4年度においても、これまでと同様「学校給食用物資の安定供給事業」による良質で多種多様な物資の提供と価格の安定に努めた。さらに、ノロウイルスやO157による食中毒、学校給食用物資によるアレルギー事故、重大な異物混入事故の防止などを引き続き実施した。

令和4年度前半は、物価高騰により給食費が圧迫され、一般物資の売上が伸び悩んだが、年度後半からは、新型コロナが落ち着きを見せ、営業活動を積極的に行ったことに加え、一部給食費の補助もあったことから、一般物資の売上は前年度比で大きく伸ばすことができた。

一方、基本物資は令和3年度産米が、平年並みの作柄であったため、前年に比し精米価格が下落し、売上は前年度を大きく下回った。

なお「親子食育実践教室」をはじめとする各種事業の多くは中止またはオンラインや書面等、形を変えての開催となった。

また、物資の配送には影響がなかったものの、当会でも複数の職員に新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者が出たこともあり、あらためてマスクや手洗い等、基本的な感染対策を徹底し、学校給食用物資の安定供給に寄与するよう努めた。

I 役員・評議員・職員等の数（令和5年3月31日現在）

理事	7名（理事長1 常務理事1 理事5）
監事	2名
評議員	9名
職員	11名（男9 女2） 再採用職員 2名（男2）
臨時職員	17名（男14 女3）
パート職員	2名

II 学校給食会の事業

- 学校給食用物資の安定供給に関する事業
- 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業
- 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業
- その他（災害救助の支援物資の供給）

1 新型コロナウイルス感染拡大のため中止等になった事業

(1) 以下の事業について新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

【学校給食用物資の安定供給に関する事業】

・物資選定委員会専門部会

【学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業】

・親子食育実践教室

【学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業】

・学校給食用パンの品質審査

(2) 以下の助成事業については新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、会議の開催や料理教室等が実施されず、例年20件程度ある応募が3件しかなかった。

・公募型の助成

学校給食関係者が、県外で開催される学校給食に関わる講演会、研修会等に出席する場合に、旅費の半額を助成する。(応募0)

児童生徒及び保護者を対象とした食育に関する講習会、学校給食料理教室等の開催などに助成しているが、料理教室の助成に3件応募があった。 16千円

・一般物資助成

学校給食に関わる者・団体等が児童生徒やその保護者を対象に学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、必要な食材の無償提供を行う。(応募0)

2 学校給食用物資の安定供給に関する事業

(1) 種類別学校数・対象者数(児童・生徒・教職員)

※ 参考資料：令和3年度、令和4年度「教育委員会・学校一覧」より算出。

完全給食 種 別		令和4年度		令和3年度		増 減	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	公立	269	68,919	271	70,069	△2	△1,150
	国立	2	841	2	826	0	+15
	計	271	69,760	273	70,895	△2	△1,135
中学校	公立	139	35,535	139	35,819	0	△284
	国立	1	270	1	282	0	△12
	計	140	35,805	140	36,101	0	△296
特別支援学校(国立含)		13	2,582	13	2,528	0	+54
合 計		424	108,147	426	109,524	△2	△1,377

①学校数は本校のみ

②人数は児童生徒数に教職員を含めた数である。

③高森みどり中、下関中等教育は公立中学校に含める。

(2) 共同調理場の状況

58 調理場（前年比増減0）

(3) 物資取扱の実績（数量・金額）

① 実績（数量・金額）

（単位：千円）

品名	令和4年度		令和3年度		増減
	取扱数量	売上高 (税抜)	取扱数量	売上高 (税抜)	売上高 (税抜)
パン	5,534,826食	270,438	5,639,394食	258,928	11,510
委託炊飯（米飯）	4,927,473食	272,731	5,021,502食	283,735	△11,005
自校炊飯（精米・アルファ化米等）	587,941kg	167,067	594,383kg	183,428	△16,361
小計		710,236		726,091	△15,856
一般食品		324,071		313,316	10,755
冷凍食品		691,544		652,234	39,309
非食品		3,583		3,054	528
小計		1,019,198		968,604	50,592
合計		1,729,434		1,694,695	34,736

② 概況

一般物資の売上は、年度前半は物価高騰により給食費が圧迫され伸び悩んだが、年度後半からは、新型コロナが落ち着きを見せ、営業活動を積極的に行ったことに加えて、一部給食費の補助もあったことから、前年度比で50,592千円増と大きく伸ばすことができた。

また、令和4年度、各仕入れ業者より給食用物資の値上要請があったが、できるだけ価格を据え置いたため業者と折衝を重ねた結果、値上げ要請のあった1,145品目のうち売渡価格の変更を行ったものは397品目となった。

基本物資の売上は、パン給食では、昨年度を上回る11,510千円増であった一方、精米・米飯給食では、令和4年度は、前年度産米の作況指数が概ね良好となり、精米価格が下がったことに加え、児童生徒数の減少から、売上は前年度に比し27,366千円減となったが、物資供給事業全体でみると34,736千円増となった。

(4) 良質で多種・多様な物資の調達

基本物資のパン用小麦粉、炊飯、精米のほか、一般物資として約1,700品目を取り扱い、問題となっているアレルギー対応の食材についても学校からの要望に応じている。また、行政職員や栄養教諭等で構成する物資選定委員会において、令和4年度は新たに本会が推薦できる安価で優良な物資、主に使用頻度の高い魚介調理品や新しいデザート品等を選定し、利用を呼びかけた。

さらに、学校給食においても地産地消を推進するため、供給元と協議を重ね、山口県の地場産物を使用した新商品の開発に積極的に取り組み、周南市の鹿野高原豚と県産の麦みそを使用した周南市業者とのコラボレーション商品「鹿野高原豚のみそ焼き」や、光市から「光

ゆめ給食」の依頼を受け、光市産ブルーベリーを使用したブルーベリーゼリーと光市産ハモを使用したハモフライを開発した。

① 学校給食用物資選定委員会

第1回

開催方法 書面開催（7月中旬）

選定委員 県農林水産部、教育庁、小中学校栄養教諭・学校栄養職員、（公財）山口県学校給食会 6名

開催内容 優良な学校給食用物資の選定

応募企業 14社（16品目）

選定品目 9品目（8社）

第2回

令和5年3月に予定していた、次年度の学校給食用物資の価格を決めるために開催する第2回委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、価格の決定については、各選定委員への書面決議とした。

（5）安定価格の維持と安定的な供給

取扱物資の価格は、年度当初に公開し、年間を通じて公表価格以下に抑制し、給食内容の維持、保護者の負担軽減を図るとともに、公益財団法人としての役割を果たすため製造メーカー等との交渉を通じ廉価で良質な物資の確保・供給に努めたが、年度途中にも値上げ要請があり、まとめ買いや次学期、次年度までの価格据え置き交渉や安価な代替品への切り替えを行い値上げを最小限に抑えた。

また、たけのこ、ほうれん草、フルーツ缶詰類等、旬の季節食材13品目については、収穫時に一括購入するなど、年間を通して安定した価格で供給できるよう努めた。

（6）配送体制の確立

2トントラック（仕切り付き冷凍冷蔵車）10台、軽トラック（冷蔵車）1台を配置し、山間部や離島を含めた県下全域に、1年を通じて遅配や欠配をすることのない配送体制を確立している。

（7）物資の保管

仕入れた給食物資は、当法人が保有する常温倉庫（約846㎡）及び冷凍冷蔵倉庫（約752㎡）で保管している。ロット管理をシステム化することにより、賞味期限切れ物資の出庫防止に努めている。また、一括購入した冷凍野菜等については、民間倉庫に保管を委託した。

3 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

（1）主催・共催（県教育委員会及び関係諸団体）で、学校給食関係者や保護者・児童を対象に各種の講演会・研修会を通して食育推進のための支援事業を実施した。

① 山口県学校給食研究協議大会

学校給食の意義と役割に関する認識を深めるとともに食育の推進等の一層の充実・向上を図るため、衛生、食育に関する講演、栄養教諭・学校栄養職員等による事例研究発表等を行った。

開催日時 令和4年8月9日（火）

開催方法 オンライン開催（山口県総合保健会館）

主 催 山口県教育委員会、（公財）山口県学校給食会

参加者 学校栄養教諭、学校栄養士、調理員等

② 学校給食功労者の表彰

現場士気の向上を図るため、学校給食功労者に表彰状と記念品を送付して表彰を行った。例年、山口県学校給食研究協議大会において表彰式を実施していたが大会がオンライン開催となったため、表彰状等の送付のみとした。

③ 学校給食料理コンクールの開催

夏休み期間中に、山口県内の小中学校児童生徒の工夫に満ちた料理を募集し、コンクールを実施した。

募集期間 令和4年8月1日（月）～ 9月26日（月）

書類審査 書面開催

最終審査（試食審査） 令和4年12月13日（火） 14時00分～

応募学校数 小学校 28校 中学校 27校

応募作品数 小学校 440作品 中学校 770作品

各 賞 小学校 最優秀賞 1作品

岩国市立岩国小学校6年 藤川 慶尚「アジフライハンバーガー」

ほか 優秀賞 2作品 佳作 2作品 アイデア賞 1作品

中学校 最優秀賞 1作品

周南市立岐陽中学校2年 小原 璃子「イカパオライス」

ほか 優秀賞 4作品 佳作 4作品 アイデア賞 2作品

主 催 （公財）山口県学校給食会

後 援 山口県教育委員会・山口県学校栄養士会

(2) 助成事業の実施

学校給食に関わる団体の活発な事業展開と関係者の資質の向上に寄与することを目的に以下の事業を実施した。

特定団体への助成

山口県学校栄養士会 食育の推進及び指導に関する資料の作成等（10件）

山口県パン工業協同組合 学校給食用パン、米飯製造時における安心・安全の衛生意識向上のための衛生講習会 令和4年12月3日開催

(3) 施設の使用及び食育教材等の無償貸出事業

学校及び学校給食に関わる団体等に対し、当法人が保有する施設の使用及び食育教材等の無償貸付を実施しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から施設（会議室、調理室等）の貸出は行わなかった。

指導用年代別給食・郷土料理モデルレプリカ、ビデオ・DVD（教材用、衛生管理）、各種オードブル皿、紙芝居の貸し出しを実施した。オードブル皿の貸出については通常70～80件程度あるが、コロナ禍によりバイキング給食の実施が少なく、13件と需要が少なかった。

全貸出件数 41件

(4) 食材情報提供

本会取扱物資、県産商品、行事食等の情報をホームページやチラシ等で提供した。

(5) ホームページの刷新

平成23年にリニューアルして以来、基本的なデザイン、構成を変えていなかった本会ホームページについて、宣伝効果を高め、アクセス数を増やすべく、専門業者に委託し、デザイン等のリニューアルを図った。

4 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

学校給食用物資の安全性及び衛生管理を徹底し、児童生徒の健康保持、増進に寄与した。

(1) 物資の適正管理

① 学校給食用物資の安全性の確認（書面による確認）及び検査・検定の観点から業者に対し以下の学校給食用物資内容の提出を義務付けている。

- ・栄養分析表
- ・原料配分表・原料の原産地・食品添加物
- ・遺伝子組換え食品等調査票
- ・アレルギー物資を含む食品に関する調査票
- ・産地証明書（山口県産原料について）
- ・確認書（物資カード記載の産地情報について相違ないとの捺印付の書面）
- ・細菌検査表
- ・包装資材の試験成績表
- ・製造工程表
- ・会社概要

② 一般物資の検査

細菌感染を防ぎ安全安心な物資を提供するため肉や魚などのうち、年間を通して使用頻度の高い国産牛のスライスなど30品目について、細菌検査（大腸菌、ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター）を3回実施した。また、本会の取り扱う冷凍野菜20品目についても、300成分の残留農薬検査を行い、より安全・安心な物資の提供を行った。検査はいずれも山口県予防保健協会に依頼した。

なお、年3回行う30品目の細菌検査と同時に、それ以外で比較的使用率の高い20品目については、各メーカーに対し自社検査または公的検査による細菌検査を義務付けている。

③基本物資の検査・検定

基本物資の精米・玄米・パン用小麦粉については品質検定を精米・製粉ごとに（一財）日本穀物検定協会に委託し実施した。また、新米収穫時の10月から11月に19地域玄米の残留農薬・カドミウム検査を実施した。

(2) 学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫の無償貸付事業

令和3年度からは新規貸付けは行わず、これまで貸付けを行った保管庫の廃棄処分等に係る事務のみ行っている。

(3) 学校給食施設等における衛生管理の支援

① 学校給食衛生管理指導者講習会

各市町において衛生管理の指導的立場にある市町教育委員会、県立の学校給食関係者、栄養教諭・学校栄養職員等を対象として食中毒防止対策等の必要な知識及び実務的な対策方法を習得させ、衛生管理に関する指導力の向上を図った。

開催日時 令和4年6月9日（木）13時30分～16時25分

開催方法 オンライン開催

参加者 各市町教育委員会学校給食担当者、公立学校の学校給食調理施設の調理場長等責任者、栄養教諭・学校栄養職員等

研修内容 (ア) 講義「学校給食における衛生管理について」
山口県教育庁学校安全・体育課 指導主事 田中 敦子
(イ) 講義「事例から学ぶ衛生管理について」
山口県環境生活部生活衛生課 食の安心・安全推進班
技 師 池本 真梨
(ウ) 講義「学校給食衛生管理～衛生管理全般～」
山口県薬剤師会学校薬剤師部会 理 事 中村 光宏
(エ) 講義「学校給食衛生管理～消毒薬～」
山口県薬剤師会学校薬剤師部会 理 事 小林 晃子

主 催 山口県教育委員会 （公財）山口県学校給食会

② 衛生検査器具の無償貸付事業

児童生徒に対し効果的な手洗いを指導するため、手洗いチェッカーやATP（拭き取り検査器具）・ふらん器などの貸出し及び試薬の無償提供を実施した。

(ア) 手洗いチェッカー	12件	19台
(イ) ATP（拭き取り検査器具）	18件	16台

③ 指定委託工場の巡回調査実施

衛生管理の専門業者に依頼し、パンの製造や炊飯を委託している工場に対し、年2回、設備の衛生管理の状況を調査・指導し、製造従事者に衛生管理講習会を実施した。

また、令和4年度の該当はなかったが、異物混入件数の多い工場は後日、専門業者による再調査・再指導及び衛生講習会を実施することとしている。

第1回実施時期	令和4年7月7日～7月26日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（5工場）
第2回実施時期	令和5年2月20日～2月27日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（5工場）

④ 山口県産食材を使用した商品の製造を委託している工場の調査実施

本会が山口県産品を製造委託している県内外にあるメーカーの6工場に対して、本会が定めている工場の調査要綱に基づき、立ち入り調査を実施した。

実施時期 令和4年7月25日・27日、8月4日、10月7日
(新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全て公用車での移動)

⑤ 異物混入等への対応（原因究明、改善対策指導・確認、報告）

発生時の対応から報告まで原因究明、改善策等の報告を行うとともに、重大な異物混入など給食事故を起こした加工委託工場に対し、必要に応じて専門業者による立入調査を実施しているが、令和4年度においては、重大な異物混入等の発生はなかった。

⑥ 加工委託工場ATP拭き取り検査

加工委託工場の衛生管理取組体制強化を目的に月1回拭き取り検査を実施した。

汚れを数値化することにより、調理器具や手指の洗浄不足などがわかりやすく、基準よりも数値が高かった工場に対しては、洗浄方法の見直しをするよう指導を行った。

⑦ 職員の検便の実施

毎月2回実施した。（10月～3月はノロウイルス検査を毎月1回追加で実施）

5 車両関係修理

当会の保有するトラックについて、エンジンや排気系など、大きな修理が嵩み、修理費用は昨年度に比べ大幅に増加した。

また、排ガス制御装置の経年劣化により、運転に支障が出たことから、当該部品の交換を実施した。

なお、当該交換の費用は高額になったため、資産計上とした。

6 修繕

令和4年度は大規模な修繕、故障はなかったが突発的な故障・劣化による不調等、緊急を要する修繕を行った。

- ・電話回線工事
- ・事務所1Fブラインド修理
- ・冷温水器ホース水漏れ修理

7 設備投資

① 車両の入れ替えについて

トラック1台が事故により走行不能となったため、車両の更新が必要となったことから、納車まで10ヶ月以上を要する新車ではなく、比較的入手可能な中古車を購入した。

② 財務システムの更新

平成28年度に導入した財務会計システムについて、令和4年8月以降、財務系を皮切りに随時、保守サポートが終了することにより、法令に即したプログラム変更や保守、電話等によるサポートが受けられなくなることから、円滑に本会経理事務を遂行するため、システムの更新を行った。

③ 冷凍冷蔵倉庫火災報知器の設置

本会冷凍冷蔵倉庫は、当初、冷凍倉庫として建てられ、消防設備の一部が免除されていたが、HACCPへの対応として、冷蔵温度帯での荷造り作業スペースを作った際、消防署より、冷蔵倉庫としても使用するのであれば、必要な消防設備を設置するよう指摘を受け、煙探知器等を設置した。

8 資産取得資金の積立

野菜他物資の価格高騰やコロナ過による一部休校・学年学級閉鎖により売り上げが伸び悩んだ昨年度に続き、令和4年度も赤字決算となったため、冷凍冷蔵倉庫建替えに係る積立は行っていない。

9 令和4年度行事

(1) 役員会・評議員会の開催

- | | | |
|--|-----------|------|
| ①令和4年度第1回通常理事会 | 令和4年6月2日 | 県給食会 |
| 令和4年度定時評議員会
(令和3年度事業報告案及び決算案の承認ほか) | 令和4年6月21日 | 県給食会 |
| ②令和4年度第2回通常理事会 | 令和5年3月16日 | 県給食会 |
| 令和4年度臨時評議員会
(令和5年度事業計画案及び予算案の決議・承認ほか) | 令和5年3月27日 | 県給食会 |

(2) 給食会主催

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ①物資選定委員会(年2回開催) | 書面開催 |
| ②令和4年度親子食育実践教室 | 中止 |
| ③学校給食用パンの品質審査 | 中止 |
| ④学校給食料理コンクール(最終審査会) | 令和4年12月13日 県給食会 |

(3) 関連会議・研修会(全国、中国・四国ブロック、県内)

①全国学校給食会連合会関係

旧全給連

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 全国学校給食会連合会第1回定例理事会 | 令和4年6月30日 |
| 社団法人設立準備委員会(臨時) | 令和4年6月30日 |
| 全国学校給食会連合会第1回定例総会(解散総会) | 令和4年7月1日 |
- 新法人
- | | |
|------------------------------|---------------|
| 全国学校給食推進連合会第1回定時社員総会(設立総会) | 令和4年7月1日 |
| 全国学校給食推進連合会第1回理事会 | 令和4年7月1日 |
| 全国学校給食推進連合会第2回理事会 | 令和4年7月14日 |
| 全国学校給食会初任者研修会 | 令和4年11月9日～11日 |
| 全国学校給食推進連合会実務(インボイス)担当者研修会 | オンライン開催 |
| 全国学校給食推進連合会実務(電子帳簿保存法)担当者研修会 | オンライン開催 |
| 第17回食育推進全国大会(愛知県) | オンライン開催 |

(令和4年6月18・19日)

第63回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(大分県)

オンライン開催

(令和4年8月4・5日)

第73回全国学校給食研究協議大会(東京)

オンライン開催

(令和4年10月20・21日)

②中国・四国ブロック関係

中国・四国学校給食会代表者会(鳥取)

令和4年12月8日

中国・四国物資安定対策協議会担当者会(島根)

書面開催

中国・四国ブロック別研究協議会(徳島)

書面開催

中国・四国幹部職員研修会(広島)

令和5年1月19日

③県内

山口県学校給食研究協議大会

オンライン開催

(令和4年8月9日)

(4) その他

職員研修会

令和4年8月3日 県給食会

学校給食衛生管理指導者講習会

オンライン開催(令和4年6月9日)

附 属 明 細 書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月
公益財団法人 山口県学校給食会